



■ 三重県出身 環境情報学部 3年

開拓者精神を持って、
自分にしかできないリーガルサービスを
提供できる人材になりたい。

Q 維持会奨学生として思うことは？

維持会の皆様からのご支援により、学費の心配をすることなく学業に専念することができ、とても感謝しています。ご期待に添えるよう、信念を持って邁進していきたいと思います。また、慶應義塾で学んだことを活かし、いち早く社会に貢献するとともに、お世話になった維持会を通じて次の世代の維持会奨学生を支援するといった恩返しが実現できればと思っています。

Q 一番興味のある授業は？

「ビジネスのデータサイエンス」という授業です。R言語を用いたデータマイニングに関するものですが、Twitterから情報を取得し、それらを形態素解析し、そこから傾向を分析するといった一連の手続きを学ぶことができました。また、SFCには欠かせないグループワークで仲間とともに目標を定め、授業で学んだことを活かす時間が設けられており、とても有意義でした。私が所属するチームでは、仮想通貨「リップル」の価格予測が可能であるのかについて検証しました。結果として、ツイート内容と価格変動に相関関係は見られなかったのですが、仲間とともに懸命に取り組むことができた経験は貴重でした。

Q 課外活動で力を入れていることは？

在学中の司法試験予備試験合格、その後の司法試験合格を目指し、司法試験予備校で学習をしています。そのため、学外での時間の多くを法律7科目の知識習得に充てています。WEB受講も可能なため、時間や場所を問わず学習を進めることができ、大学生活との両立も可能です。また、目下の課題は試験合格にありますが、ニュースで取り上げられる、民事、刑事上の事案の争点が段々と理解できるようになり、学習にもより一層身が入ります。

Q 慶應義塾の良いところは？

「伝統」と「革新」を併せ持つ点にあると思います。「伝統」として思い浮かぶのは、長い歴史の中で培われてきた三田会や維持会などの人的ネットワークが挙げられます。慶應義塾を卒業された先輩方が各界で活躍されている姿を拝見する機会が多く、私も早く追いつきたいと感じます。また、「革新」については、私が所属するSFCが顕著であるように思います。学際的な学問領域において、多様性に富んだ研究を行える点は魅力的であり、未来を創造する力を養える環境が整っています。

Q 今後、学生生活でチャレンジしたいことは？

研究会で「科学技術コミュニケーション」プロジェクト・チームに所属し、日本科学未来館、科学技術振興機構 (JST) と共同研究を行っています。生活者 (国民) の科学技術に対する知識と理解、および、態度を継続的かつ多面的に測定し、生活者のもつ価値観や望む未来イメージとあわせて分析することを目標としています。加えて、日本の科学技術動向に触れる機会が多いため、将来の法曹実務が直面する科学技術による劇的な変革に対応できる柔軟な視点を身に付けたいと思います。

Q 卒業後の進路、将来の夢は？

重大案件を解決に導く「ビジネス・ローヤー」として世界を舞台に活躍することを夢見ています。数多くの案件に関与して経験を積み、企業の重要な意思決定が行われている局面に立ち会うことができる企業法務分野に携わることに強い憧れを抱いています。具体的には、クロスボーダー M&A、知財・特許、ベンチャー支援業務等に携わり、日本発の素晴らしい技術・サービスを支えたいと思っています。また、SFC で学んだ知見を活かした付加価値を見出すことで、複雑化していく社会の中で、開拓者精神を持って、自分にしかできないリーガルサービスを提供できる人材になりたいとも考えています。